

令和5年度和歌山県性教育研究大会（近畿・北陸・東海ブロック）の報告

和歌山県性教育研究会
会長 入駒 一美

1 はじめに

令和5年度の近畿・北陸・東海ブロックでは、今年度、新たに設立した和歌山県性教育研究会が主催で開催させていただきました。

学校における性に関する指導をめぐる国の動向として、令和4年度からすべての校種で新学習指導要領に基づく指導が行われるとともに、12年ぶりに改訂された生徒指導提要では性に関する課題についての記載が充実しています。一方で、新型コロナウイルス感染症の流行以降、中高生の妊娠相談や梅毒等性感染症の増加等性に関する問題はこれまで以上に多様化・深刻化しています。

このような現状を踏まえ、本研究協議会は、講演や実践発表を通して、学校・家庭・地域が連携した性に関する指導について理解を深め、各学校における性に関する指導の充実を図ることを目指して企画し、10月22日(日)に開催しました。

2 講演

【講師】全国教育研究団体連絡協議会
理事長 野津 有司

【演題】学校における性教育をどう進めるか



学校において性に関する指導を推進するに当たっては、児童生徒のみならず教師や保護者の性に対する羞恥心や指導に対する抵抗感があることが大きな障害となりやすい。一方で、性に関する問題のみならず、児童生徒の性意識も多様化する中で、学校においては、性に関する指導のねらいや在り方について共通理解を図り、子供たちが生涯を通して適切に判断し、行動していくための基礎となる資質・能力を身に付け

ることができるよう有効で適切な指導が求められている。

性に関する指導は、ブームで終わらせるのではなく、着実に実践していく必要がある。

3 実践発表

I 「心が動く学びを目指して」

【発表者】和歌山県立古佐田丘中学校
養護教諭 山田 晃子 氏

II 「豊かな人間性を育む性に関する指導を目指して」

【発表者】和歌山県立箕島高等学校
養護教諭 戸田 糸保 氏

III 「特別支援学校における性に関する指導の取組」

【発表者】和歌山県立紀北支援学校
養護教諭 本岡 智里 氏

実践発表後のグループ協議では、性に関する指導を実施する上での悩みとして、教育活動全体を通じて実施するに当たっての体制整備や保護者との連携の在り方等の意見が出されました。また、実践発表に対する講評として、野津理事長から次の事項が示されました。

- ①外部講師を招聘する際には、児童生徒及び学校両方の観点から、外部講師を活用することによる効果等を検証する必要がある。
- ②指導を継続するためには、学校の内外における連携体制を整備するとともに、担当者が変わることによる変化を進歩の機会と捉えることが重要である。
- ③指導内容や児童生徒の発達の段階に応じた適切な教材となるよう工夫をする必要がある。

4 おわりに

奈良県性教育研究会の協力により、設立間もない当会が主催で研究協議会を開催し、野津理事長による講演や本会会員による実践発表ができたことは、今後、当会を活性化させていくために大変励みとなる貴重な機会となりました。